

2021年12月24日

会社名 株式会社 オプティム
代表者名 代表取締役社長 菅谷 俊二
(コード番号：3694 東証第一部)
問合せ先 管理担当取締役 林 昭宏
(TEL. 03-6435-8571)

新市場区分「プライム市場」選択申請 及び新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日プライム市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

なお、今後につきましては、2022年1月11日予定の東証の上場会社の新市場区分の選択結果の公表を経て、2022年4月4日よりプライム市場に所属します。あわせて、経過措置が適用される期間内に以下の計画に基づき、上場基準への適合をすすめていく予定です。

記

○当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況ですが、流通株式比率については26.1%（純投資目的の株式を考慮した場合27.57%）となっており35%という上場維持基準を充たしておりません。当社は、流通株式比率に関しては2027年3月期中に上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

○上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

流通株式比率の適合基準達成のためには、流通株式比率を約7.5%増加させる必要があります。流通株式比率の適合に向けた取組としては、当社の主要株主でもある代表取締役菅谷が保有する株式の一部を既存株主や市場環境への影響等を総合的に考慮しながら、時間外取引等を含めた様々な手法を用いて、可能な限り現在の市場に与える影響を最小限にとどめつつ、段階的に流通株式比率を増加させていく方針を菅谷氏と合意しております。

また、現状の株式市場における当社株式の売買出来高は、日々15万株前後で推移しておりますが、この株式の流動性をさらに高め、投資家が売買をしやすい環境を確保することが流通株式数の増加へ向けた課題であり、時価総額の増加につながると考えております。そこで、これまで以上に情報開示を充実させ、市場からの関心を高めつつ、決算資料や招集通知等の英文での開示を通じて、機関投資家をはじめとする海外の投資家への積極的な情報提供を行うことにより、流動性を高めるとともに、株式価値の向上を図っていきたいと考えております。なお、英文での決算短信の提供はすでに開始しており、招集通知の英文での開示についても今期より行っていく予定です。

以上